

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.9 東京新宿支部
(ぼけっとの会)

● あゆみ

ぼけっとの会は1999年4月に発足し、今年18年目に入ります。「新宿区には福祉団体の本部や事務局がたくさんあるのに、どうして親の会がないのだろう」と疑問をもった母たち3人が「会がないのなら、えいっ、作ってしまおう!」と集まって立ち上げました。10組の家族からのスタートでしたが、少しずつ参加家族も増え、2013年にJDSの支部になりました。

「ぼけっ」という名前には、<夢や可能性が詰まったドラえもんポケット>と、<赤ちゃんが成長して独り立ちを目指すカンガルーのポケット>という二つのイメージがあります。様々な活動のきっかけに、また、ほっとできる居場所となる「ぼけっ」を目指して、会を育てていきます。

● 活動

一年に一度の総会、会員が家族とともに最も大勢が集まるクリスマス会、就園就学懇談会、グループ別(年齢に応じて)の懇親会や遠足、ダンスワークショップやヨガ

教室などを行ってきました。また、会の発足当時から年に数回の会報「ぼけっ通信」を発行しています。その中で、就園就学の情報や体験談、親の手記、病院、療育や習い事の情報、お薦めの本の紹介など、多くのことを発信してきました。

最近はインターネットでの情報収集が主流になってきたことなどから、会報を71号で休刊とし、昨年11月に公式サイトを開設しました。これにより活動やニュースをタイミングよく発信できるようになりました。まだまだ始めたばかりですが、いずれは会員だけが見られる掲示板を作り、会員相互の情報交換やお悩み相談などもできるようにしたいと考えています。

また、会の本人最高年齢は現在22歳。年齢が上がってくる今後は、就学・就労後の余暇活動や生活の場についてなども課題にしていきたいと思っています。そして、本人同士の交流などの部会も行う予定です。

これからもさらに工夫をしながら、誰も孤立することのないような活動になっていければと話し合っています。

● 支部長より

昨年行われたバディウォークに参加した際、あるお父さまが「30年前は、こんな日がくるなんて思いもよらなかったよ」と仰っていたのが印象的でした。少し先を行かれる親御さん方の活動が今の私たちの暮らしにつながっているのだと、改めて思いました。親の会の役員も、無理なく楽しく次々と、バトンタッチしていけたらと思います。

- ◆ 支部長：正木 雅子
- ◆ 支部会員：46 家族
- ◆ 設立：1999年4月
- ◆ 対象地域：新宿区とその周辺
- ◆ ご本人の年齢：0歳～22歳
- ◆ 連絡先：

<http://www.shinjuku-pocket.com>



2016年のクリスマス会。80人近く集まって盛り上がりました!